

Information

学会開催案内・新刊紹介などの
情報をお届けします

医療施設経営セミナー 「地域医療構想を踏まえた 中小病院の地域戦略」

日程■2018年10月19日(金)10:10~16:20

会場■新霞が関ビル内・全社協賛尾ホール(東京都千代田区)

対象者■病院を経営する理事長、院長、事務長など医療機関経営に携わる方
受講料■8,640円(消費税込)

プログラム■「地域医療構想の進め方と地方自治体による取り組み——地域医療構想調整会議の効果的活用を目指して(仮題)」山本光昭(兵庫県健康福祉部長)／「医療貸付事業の概要について(仮題)」／簡易融資相談コーナー／「中小民間病院が目指す2025年の医療提供体制のあり方——自院が地域から期待されるポジションは？(仮題)」松田晋哉(産業医科大学医学部公衆衛生学教室教授)／「地域を支える中小病院の生き残り戦略に向き合う——永続的経営に向けた戦略的転換を考える(仮題)」渡辺優(株式会社メディチュア代表取締役)／「病院の経営状況について(仮題)」独立行政法人福祉医療機構経営サポートセンターリサーチグループ

①独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンターリサーチグループ
セミナーチーム

☎03-3438-9932(直通)

FAX 03-3438-0371

URL http://hp.wam.go.jp/hp/keiei_seminar_goannai/

第7回 織田記念国際シンポジウム「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた健康危機・医療への備え」

日程■2018年10月19日(金)13:00~18:10

会場■国立国際医療研究センター 国際医療協力研修センター5階・大会議室(東

京都新宿区)

参加費■無料(事前登録制)

プログラム■第1部 基調講演「2012年ロンドン五輪における公衆衛生対応能力強化」Ms. Tina Endericks (Director, WHO Collaborating Centre on Mass Gatherings and Global Health Security, Public Health England)／第2部 パネルディスカッション:2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた感染症対策①「2020年東京オリンピックに向けた感染症対応体制の構築について」三宅邦明(厚生労働省結核感染症課長)②「アジア太平洋新興感染症・公衆衛生危機戦略(APSED III)とマスギャザリング」Dr. Thilaka Chinnayah (Medical Officer for International Health Regulation, WHO Health Emergencies Programme, World Health Organization Regional Office for the Western Pacific)③「マスギャザリングにおける感染症サーベイランスの強化について」和田耕治(国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教授)④「生物テロとその対策」齋藤智也(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)／第3部 パネルディスカッション:2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた救急医療提供体制①「アカデミアから提案する救急医療提供体制」横田裕行(日本医科大学付属病院救急救命科)②「オリンピック・パラリンピックの救急医療提供体制: NCGMができること」佐々木亮(NCGMセンター病院救命救急センター)③「オリンピック・パラリンピックにおけるアスリートに対する救急医療」Dr. David Zideman (Consultant in Anaesthesia and Pre-Hospital Emergency Medicine, International Olympic Committee)／第4部 パネルディスカッション:2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた外国人への医療提供体制の構築に向けて①「NCGMにおける外国人への診療提供体制について」大曲貴夫(NCGMセンター病院副院長、国際感染症センター長)②「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた外国人への医療提供体制の構築」徳本史郎(厚生労働省医政局国際医療展開推進室長)③「2018ピョンチャ

ン冬季オリンピック・パラリンピックにおける外国人への医療提供体制」Prof. Kang Hyun Lee Dean (Wonju College of Medicine, Yonsei University) ④「AIを活用した多言語音声翻訳による病院での外国人対応への取り組み」長瀬友樹(富士通研究所人工知能研究所特任研究員)

※日英同時通訳

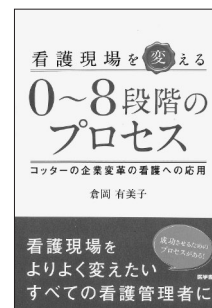
① 国立研究開発法人国立国際医療研究センター(NCGM)国際医療協力局

☎03-3202-7181(内線2743)

✉info@it.ncgm.go.jp

URL <https://goo.gl/forms/sNWEcsrYTgzPBmw33>

『看護現場を変える0~8段階のプロセス コッターの企業変革の看護への応用』発刊



企業で組織変革を起こし、それを定着させる代表的な理論「コッターの企業変革8段階」を看護に応用し、現場の「変える」を確実に成功させるプロセスを解説する1冊。

目次■第1章 “変革”をどう捉えるか／第2章 “変革”を成功に導くための構成要素／第3章 コッターの企業変革8段階—看護の現場への応用／第4章 看護現場での変革を成功に導く0~8段階のプロセス／付録 変革計画シート 記載例とポイント

※付録は医学書院ウェブサイト上からダウンロード可能

著■倉岡有美子

A5判/152頁/医学書院刊

定価■本体2,500円+税

ISBN978-4-260-03663-4

本欄への掲載についてのお問い合わせは、本誌編集室まで。『病院』編集室 byoin@igaku-shoin.co.jp